

平成31年度・令和元年度 一般社団法人南陽市体育協会

事業計画

(1) 第74回国民体育大会選手壮行式兼第45回南陽市体育祭開会式

① 第74回国民体育大会（茨城大会）選手壮行式

国民体育大会での地元出身選手の活躍を期待し、体育協会挙げて壮行式を実施します。
また、今年も県少年少女スポーツ交流大会出場選手壮行式と合同で開催します。

② 第45回南陽市体育祭開会式

南陽市体育祭は体育協会最大の事業です。広く市民に周知をするために、情報網を活用し盛大に開催できるよう取り組むとともに、市民参加の機会を数多くつくっていきます。

(2) 生涯スポーツ振興事業及び競技力・青少年スポーツ強化事業

① 19加盟団体への支援

南陽市体育協会に加盟している19団体が競技力向上の取組みを主体的に進められるよう支援します。また、会員同士の親睦が深められるような事業を推進します。

大きく変貌する社会環境や市民ニーズを勘案して独自性のある計画・立案・実施を推進していきます。

また、生涯スポーツの一層の推進を図るため、総合型地域スポーツクラブについて、研究、検討していきます。

② 競技力向上事業

「競技力向上事業計画」を立案し、ハイレベルな選手の育成、競技力向上対策、ジュニアの競技力向上の3点を本年度の重点事業とし、それぞれの加盟各団体の競技力向上や青少年のスポーツ事業を強力に支援していきます。特に、ジュニア期から青年期までの一貫した指導プログラムを念頭に置きながら計画的に推進していきます。

(3) 令和2年「新春スポーツ講演会」並びに「スポーツ懇談会」

① 新春スポーツ講演会

令和2年の講師招聘（選定）は南陽山の会が担当します。市のスポーツ関係者が一堂に会す唯一の機会であり、示唆に富み、出席者が感動する講演となるよう取り組みます。

② 新春スポーツ懇談会

体育協会加盟19団体の関係者が参加する新春恒例の懇談会です。参加者が新年の抱負や夢を語り合いながら南陽市スポーツの将来・展望について懇談していきます。

(4) 第20回記念南陽さわやかワインマラソン大会

南陽市最大のスポーツイベントとして、「走る」「支える」「応援する」をモットーに市民あげでの行事とし、2,200名を超える大会になるよう主体的に協力していきます。

さらに、本大会を盛り上げるために、超一流アスリートをゲストランナー(未定)に迎え、模範の走りを多くの人に見ていただく予定です。

本年度もコース内の通行止めや交通規制を行い、選手の安全確保に努めると共に、早くから市民にお知らせします。

(5) 健康とスポーツ振興等に関する意識調査（アンケート）の分析

昨年度中にアンケートの集約を完了したので、年齢層別やスポーツ施設に対する要望や自分の健康（健康寿命）に対する意識等を分析し、今後の活動に活かしていきます。

また、その結果については「体協だより」で市民の皆さんに報告いたします。

(6) スポーツ施設グランドデザイン（全体構想）作成

① グランドデザイン作成プロジェクト委員会

定期的に委員会を開催し、加盟団体から出された要望等を整理し、グランドデザイン作成に向けて取り組みます。特に、冬期間のスポーツ施設として、「屋内スポーツ施設」の設置に向けて取り組みます。

② 市民の声を要望に生かします

健康とスポーツ振興等に関する意識調査の結果をもとに、スポーツ施設に関する市民の声をスポーツ施設の全体構想に反映させていきます。

(7) 指導者研修会の開催

競技スポーツの振興・強化を図るためには、ジュニア期から選手の育成強化を図ると共に、指導者の育成強化や一貫した指導体制の確立が大切です。

本年度は、年2回の指導者研修会開催をめざし、講師を招いての研修会や分科会方式の研修会等工夫を凝らして開催し、指導者の悩みや要望に応えると共に、レベル向上を目指して取り組みます。

(8) 専門部の活性化

① 広報部

広報誌及び機関紙の発行

広報部会は「体協だより」を年3回（8月・12月・3月）の発行を行います。

スポーツ医科学部からの協力を得て、スポーツコラムの掲載や軽スポーツ運動の効果など、より多くの市民にスポーツに対して関心を持っていただけるよう編集に努めます。

② 強化振興部

今年度の体育協会の方針の一つが競技力の向上です。その方針を受けて、講演会、競技力向上のための指導者研修会、資格取得の奨励などを盛り込んだ新たな「競技力向上事業計画」の立案に取り組み、具現化・実現に向けて活動します。

特にジュニアの強化に力を入れ、選手育成強化及び指導者の育成を図ります。

③ スポーツ医科学部

スポーツ医科学部は、市民の運動や栄養に対する意識向上のために講演会開催やスポーツに関わる方の研修のほか体協だよりを通しスポーツによる怪我や生活習慣等のコラムを記載し、適切な指導に取り組んでいきます。

④ 財務部

財務部は、財務部会を開き、各団体に配分する基準の決定や各団体から提出された申請書を検討し、配分する金額を理事会に提案します。

(9) 本部事業

① 表彰

本市体育・スポーツの普及とその向上発展に尽くした功労者、競技成績優秀者に対しての殊勲賞、体育スポーツの普及に、物心両面で協力いただいた方への感謝状を規定に基づき表彰します。

② スポーツモラルの育成

スポーツモラルの育成に努め、スポーツにおける一般的な規律、ルールを遵守すると共に、試合ではスポーツマンシップを発揮できる人づくりに努めます。

③ 社会貢献活動の推進

スポーツの様々な場面を活用して「いじめ防止」の意識づくりに取り組みます。

④ 各種会議

- ・新春スポーツ懇談会実行委員会（委員長 専務理事）

年頭所感 ソフトテニスクラブ ハング・パラグライディング連盟
実行委員 専務理事 常務理事 各担当団体より（輪番制）

- ・財務部会（部長、部員）
- ・広報部会（部長、部員）
- ・強化振興部会（部長、部員）
- ・スポーツ医科学部会（部長、部員）
- ・本部役員会（年10回）
- ・理事会（本部役員、理事、年2回）
- ・体育協会加盟団体長会（本部役員、加盟団体長、年1回）
- ・南陽市長との懇談会（本部役員）
- ・東南置賜地区体育協会連絡協議会理事会（会長、副会長、専務理事、常務理事）
- ・南陽市スポーツ振興審議会（会長）
- ・南陽市スポーツ振興基金運用委員会（会長、副会長、専務理事）
- ・山形県体育協会理事（平成31年度・令和元年度～令和2年度）（会長）
- ・山形県体育協会評議員（平成31年度・令和元年度～令和2年度）（副会長）